

資金収支計算書 (普通会計)

大阪市の1年間の資金（現金）の流れを性質別に3つに区分してまとめたものです。どのような活動に資金（現金）を支出し、どのように賄っているかがわかります。

年度当初資金残高
(前年度からの繰越資金) **254億円**
※うち、翌年度繰越事業に必要な資金:12億円

経常的収支

経常的な行政活動から発生した収入及び支出を表したもの

支 出	1兆1,021億円
社会保障給付	5,172億円
人件費	2,094億円
その他(物件費等)	3,755億円
収 入	1兆3,874億円
地方税	6,593億円
国府補助金等	3,794億円
地方債発行額	765億円
その他(地方交付税、使用料など)	2,722億円
経常的収支	2,853億円
(㊤経常的収支)	2,899億円)

投資・財務的収支

出資や貸付あるいは借入金の返済などの支出と、それらの財源としての貸付金の回収等の収入を表したもの

支 出	5,547億円
(貸付金、地方債償還額、基金積立額など)	
収 入	2,805億円
(貸付金回収、基金取崩額、地方債発行額など)	
投資・財務的収支	△ 2,742億円
(㊤投資・財務的収支)	△ 2,354億円)

公共資産整備収支

大阪市や他団体の公共資産の整備にかかる支出と、それらの財源としての補助金や借入金等の収入を表したもの

支 出	1,047億円
(公共事業費など)	
収 入	735億円
(地方債発行額、国府補助金など)	
公共資産整備収支	△ 312億円
(㊤公共資産整備収支)	△ 306億円)

年度末資金残高
(翌年度への繰越資金) **53億円**
※うち、翌年度繰越事業に必要な資金:49億円

【ポイント】

収入では、企業収益の改善による法人市民税の増など地方税が増加したものの、地方交付税等が減少しており、また支出では、障がい者自立支援給付費などの社会保障給付が増加していますが、市政改革を引き続き推進したことにより、年度末資金残高は、53億円になりました。

年度末資金残高の53億円から翌年度に繰越した事業に必要な資金を除くと4億円（実質収支）となっており、引き続き黒字基調を維持しています。